名　　称	デ　　ー　　タ
③ 90%完成（昭和 51 年3月 31 日現在）〕	m/m, L=2 822 m　浄水設備：傾斜板方式（幅 38 m, 長 44.15 m, 深 4.3～5.5 m）4 池　配水池：鉄筋コンクリート造り（幅 35 m, 長 44.6 m, 深 4.0 m）4 池　配水管路：鋼管 L=1 万 854 m, ϕ=1 650～450 m/m, ダクタイル鋳鉄管 L=3 433 m, ϕ=300～200 m/m　施工業者名：鹿島建設・大本組・川崎製鉄ほか
銅山川工業用水道〔① 愛媛県川之江市, 伊予三島市, ③ 31% 完成（昭和 51 年3月 31 日現在）〕	事業実施箇所：愛媛県川之江市・伊予三島市　事業主体：銅山川工業用水道企業団　工事期間：昭和 42 年4月1日～52 年3月 31 日　事業予算：63 億 8 000 万円　水源：吉野川水系銅山川新宮ダム　給水能力：26 万 3 000 m³/日　一部給水量：24 万 4 960 m³/日（給水年月／昭和 50 年 10 月）　取水設備：表面取水幅 2.6 m, 長 10.28 m, 高 33.7 m（共同）　導水路：圧力円形トンネル L=2 778 m, ϕ4.92 m, 水圧管路 L=807 m, ϕ2.4～0.95 m, 無圧トンネル ϕ2.4 m, L=1.011 m（共同）　調整池：ダム高 17.8 m・ダム頂長 110 m, 有効容量 19 万 8 000 m³　分水池：鉄筋コンクリート造り（幅 27 m, 長 58 m, 深 4 m）2 池　配水管路：鋼管 ϕ1 500 m/m, L=1 087 m, ダクタイル鋳鉄管 L=1 万 7 934 m, ϕ1 350～75 m/m　施工業者名：清水建設・井原建設・久保田鉄工ほか
大牟田工業用水道（福岡県）有明工業用水道（熊本県）〔① 大牟田・有明工水, ② 福岡県大牟田市, 熊本県玉名市・長洲町・倍明町, ③ 79% 完成（昭和 51 年3月 31 日現在）〕	事業実施箇所：福岡県大牟田市・熊本県玉名市長洲町・倍明町　事業主体：福岡県・熊本県　工事期間：昭和 46 年4月1日～52 年3月 31 日　事業予算：76 億 5 000 万円　水源：菊池川水系迫間川（竜門ダム）　給水能力：7 万 4 400 m³/日（大牟田），5 万 600 m³/日（有明）　一部給水量：6 万 7 400 m³/日（大牟田），1 万 1 900 m³/日（有明）　一部給水年月：昭和 50 年6月（大牟田），昭和 50 年6月（有明）　浄水設備：横流式（長 65.7 m, 幅 66.2 m, 深 4.6 m）4 池　取水方法：表流取水（幅 19.1 m, 長 14.9 m, 高 3.9 m）　導水路：無圧トンネル標準馬蹄形 ϕ1 800 m/m, L=3 283 m　配水路：無圧トンネル標準馬蹄形 ϕ=1 800 m/m, L=4 479 m　配水管路：大牟田／鋼管 ϕ1 200 m/m, L=5 402m・ダクタイル鋳鉄管 L=1 万 1 196 m, ϕ900～300 m/m, 有明／鋼管 ϕ800 m/m, L=7 948 m・ϕ400 m/m 498 m施工業者名：三菱建設・奥村組・住友金属ほか
多摩川流域下水道北多摩1号処理場汚泥熱処理設備〔① 北多摩1号処理場, ② 東京都府中市, ③ 25% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：東京都府中市小柳町6丁目6番地　事業主体：東京都下水道局　工事期間：昭和 49 年9月 26 日～50 年 10 月1日　事業予算：11 億 9 000 万円　計画汚泥処理能力：2 980 m³/日（98% 含水率）　現有汚泥処理能力：745 m³/日（98% 含水率）　計画分離液処理能力：1 384 m³/日　現有分離液処理能力：346 m³/日　汚泥処理方法：汚泥熱処理法（間接加熱法）　施工業者名：三機工業・三菱電機
加賀市公共下水道事業〔① 加賀市浄化センター, ② 石川県加賀市, ③ 80% 完成（昭和 50 年 10 月現在）〕	事業実施箇所：石川県加賀市潮津町　事業主体：加賀市水道部　工事期間：昭和 48 年 11 月～50 年 10 月　事業予算：21 億円　計画処理能力水量：1 万 7 700 m³/日　現有処理能力水量：9 000 m³/日　計画処理能力人口：1 万 3 800 人　現有処理能力人口：7 000 人　処理方法：標準活性汚泥法　処理開始年月：昭和 50 年 11 月　施工業者名：熊谷組・間組・荏原インフィルコ
今治市公共下水道事業〔① 今治終末処理場, ② 今治市, ③ 65% 完成（昭和 51 年1月現在）〕	事業実施箇所：今治市天保山町4丁目6番地の1　事業主体：今治市下水道部・日本下水道事業団委託　工事期間：昭和 48 年～55 年　事業予算：51 億 5 000 万円　計画処理能力水量：3 万 4 350 m³/日　計画処理能力人口：6 万 8 700 人　現有処理能力水量：1 万 7 175 m³/日　現有処理能力人口：3 万 4 350 人　処理方法：標準活性汚泥法　処理開始年月：51 年 5 月　施工業者名：間組・久保田鉄工・安川電機製作所
鹿児島市公共下水道南部幹線永田川横断工事〔① 鹿児島市公共下水道, ② 鹿児島市南栄町, ③ 100%完成（昭和 50 年 12 月 25 日現在）〕	事業実施箇所：鹿児島市南栄町2丁目 13 番地先　事業主体：鹿児島市水道局　工事期間：昭和 49 年 11 月 20 日～50 年 12 月 25 日　内径：2 400 mm　延長：284 m, 永田川河口河底横断　施工業者名：新日本製鉄
三島市公共下水道事業三島終末処理場建設工事〔① 三島市公共下水道, ② 静岡県三島市, ③ 34% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：静岡県三島市長伏 309 番地　事業主体：三島市建設部　工事期間：昭和 43 年9月 19 日～53 年3月 31 日　事業予算：63 億円　計画処理能力水量：4 万 9 880 m³/日　計画処理能力人口：5 万 5 000 人　現有処理能力水量：6 200 m³/日　現有処理能力人口：9 100 人　処理方法：標準活性汚泥法　処理開始年月：昭和 51 年 11 月　施工業者名：大林組・西松建設

環境衛生

国民の日常生活に密接な関係のある環境衛生施設のうち，廃棄物の処理施設は，居住環境の清潔を保持し，公衆衛生の向上と生活環境の保全・改善を図ることを目的としているが，生活水準の向上，産業活動の進展などに伴って廃棄物の排出量の増大，質の複雑多様化がもたらされ，重大な社会問題となっている．

廃棄物は，し尿，ゴミなど，主として人の日常生活に伴って生じた「一般廃棄物」と，事業活動によって生じた燃えがら，汚泥，廃油，廃酸，廃アルカリ，廃プラスチック類などの「産業廃棄物」とに大別される．

し尿処理については，昭和 48 年度末現在，計画処理区域人口1億 665 万人のうち，水洗化人口はわずか 26.5% である．また，くみ取りし尿のうち，し尿処理施設による処理量は 57.9%にすぎない．このため，下水道の整備と，し尿の衛生的処理を図り，生活環境を良好

概　　要　・　特　　色
川之江，伊予三島両市は大小 71 社にも及ぶ製紙工場が群立し，全国屈指の製紙産業地帯である． 各工場は関係先の需要に応じ，設備投資計画を図り，工場の増設計画，抄紙機の改造計画等に着手しているため，新規に 26 万 3 000 m³/日 の工業用水の確保を図る必要が生じ，昭和 42 年より工事を進めてきたがほぼ完成し，昭和 50 年 10 月より 24 万 4 960 m³/日 を一部給水中のものである．
有明，大牟田臨海工業地区は造船，アルミ等の企業の立地がすでに行われているが，今後これらの工場の増設拡張および新規立地企業への給水を目的として，取水設備から分水設備までを大牟田工水，有明工水，大牟田上水の三者共同事業として実施し，分水設備より下流については，それぞれ専用事業として工事中のものである．昭和 50 年6月よりそれぞれの完成部分を利用し，大牟田工水 6 万 7 400 m³/日，有明工水 1 万 1 900 m³/日 の一部給水を行っている．
本設備は，濃縮槽により濃縮された下水汚泥を 205°C に間接加熱し，固液分離槽にて含水率約 86% の汚泥と分離液とに分離し，汚泥はフィルタープレス（既設）により含水率 50% 以下の脱水ケーキとし，流動層焼却炉（既設）により焼却する．熱処理工程の分離液および脱水戸液は分離液処理設備で濃縮した後，流動層焼却炉にて脱水ケーキとともに焼却する． また BOD, COD ともに 95% 以上除去された凝縮水は曝気槽に返水処理するものである．
本処理場は片山津温泉街の北端に位置し，柴山潟に面した豊かな自然美に囲まれている．主として同温泉街の汚水を活性汚泥法により処理し，柴山潟下流に放流している．特徴として，越前加賀海岸国定公園地内であり，周辺の環境と調和を検討した結果，臭気・騒音・景観対策としておもな汚泥処理施設（タンク等）は管理棟の地下に，水処理施設は覆蓋形半地下式構造としてまとめた． また，周囲に緑地帯を十分とり下水処理場のイメージアップに努めている．
本処理場は，市街化区域 661 ha の汚水を標準活性汚泥法によって処理するものである．処理場内にポンプ場はなく，汚水の流入はすべて中継ポンプ場からの圧送による． 昭和 50 年度中に一期工事は完了し，昭和 51 年5月1日には2系列（全体の4分の1）処理能力最大1万 7 175 m³/日 で処理を開始する．処理能力を高めるため雨天時にはステップエアレーション法によっても処理できるものとしている．汚泥の処理は汚泥の量を少なくするために高分子凝集剤を用いて遠心脱水を行う．
本工事は，主として鹿児島市の以南および以西の大部分の市街地を対象とする南部処理区の汚水を南部処理場へ導入する南部汚水幹線の一部で，永田川河口河底横断の汚水管路施設工事である．敷設工法としては，沈埋工法を採用し，海上輸送してきた特殊合成鋼管（外面，鋼管，内面遠心力造管法によってコンクリート，ライニング，長尺管としての1本の長さ 26.73 m 外径 3 120 mm 内径 2 400 mm）をあらかじめ浚渫しておいた水底沈設溝に鋼管杭（φ508 mm×14.0 m）を打設し頭部に架台をすえ付けてその上に管を沈設し，管と管の接合は，ネックフランジとルーズフランジで潜水夫ボルト締付け止水したのち，管の内側からは溶接し一体化し埋設したものである．
本市処理場は，昭和 51 年末処理開始をすべく目下整備を進めているが，特徴としては，処理場周辺に公園・運動施設を配置し，処理場は最初沈殿池より最終沈殿池までを覆蓋構造とし公園との有機性を考慮するなかで，上部をスポーツ施設として，市民に開放する予定である．

にするとともに，河川の汚濁防止等，環境保全を期することが急務となっている．

ゴミの排出量については，オイルショック等の影響により，昭和 48 年度は，1人1日あたりでは 891 g（47 年度 908 g）に減少したが，総排出量は，処理区域内人口の増加により，9万 5 052 t/日（47 年度 9 万 1 757 t/日）と，依然増えている．現在，おおむね，可燃性ゴミについては，ゴミ焼却処理施設で焼却処理することにより，安定化，減量化，無害化を図り，その焼却灰を埋立て処分しており，不燃性ゴミについては，そのまま，または，圧縮破砕などを行った後，埋立て処分している．

産業廃棄物の排出量は，最近の統計によれば，年間約3億2 000 万 t と推定されている．しかし，産業廃棄物の処理については，六価クロムの問題でも明らかになったように，その実態すら十分把握されていない場合が多く，責任体制および監視指導体制を整備し，適正な処理対策を講じることが望まれる．

廃棄物は経済上，資源保護上，環境保全上いずれの立場からみても排出量を発生源で減らすことが重要であり，そのためには，廃棄物の再利用，資源化回収，自然還元等を積極的に推進していく必要がある．

名　　称	デ　　ー　　タ
佐賀市清掃課北事業所整備事業〔① フジコンポストシステム，② 佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬2563番地の1，③ 100% 完成（昭和 50 年 11 月 4 日現在）〕	事業実施箇所：佐賀市高木瀬町大字長瀬2563の1　事業主体：佐賀市　工事期間：昭和 49 年 4 月 1 日～50 年 11 月 4 日　事業予算：7 億 500 万円（うち，土木建築 2 億 2 000 万円）　処理能力：120 t/12 m×1 基　施工業者名：富士車輌
広島市出島処理場〔② 広島市，③ 100% 完成（昭和 50 年 8 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：広島県広島市出島一丁目地先埋立地　事業主体：広島市　工事期間：昭和 48 年 12 月 28 日～50 年 8 月 31 日　事業予算：38 億 8 000 万円（用地費含まず）　敷地面積：1 万 5 000 m² 処理能力：900 kl/24 h（300 kl/24 h×3 系列）　処理方式：C.G プロセス（混合処理方式）　施工業者名：荏原インフィルコ・フジタ工業
汀線の変化が環境に与える影響評価調査〔① 汀線変化環境影響評価調査，② 山口県下松市，③ 100% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：山口県下松　事業主体：環境庁水質保全局　調査期間：昭和 50 年 4 月 1 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：930 万円　施工業者名：荏原インフィルコ
日本近海海洋汚染実態調査〔③ 100% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：日本近海　事業主体：環境庁　調査期間：昭和 50 年 7 月 17 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：7 200 万円　主な測定項目：水質（透明度，pH, DO, TOC (COD)，塩分，アンモニア態・亜硝酸態および硝酸態チッ素，リン酸態リン，全リン，全水銀，鉛，ヒ素，カドミウム，PCB 等）　底質（硫化物，全水銀，鉛，ヒ素，カドミウム，PCB）　調査回数：年 2 回　施工業者名：新日本気象海洋・環境分析センター
洞海湾公害防止対策事業〔② 北九州市，③ 約 90% 完成（昭和 50 年 12 月 18 日現在）〕	事業実施箇所：北九州市洞海湾　事業主体：北九州市　工事期間：昭和 48 年 2 月～51 年 3 月　事業予算：18 億円　施工概要：浚渫土量 35 万 m³，土捨場 5 万 7 200 m³（護岸 213 m，沈殿池 L 90 m×B 10 m，覆土　厚さ約 1.5 m）　施工業者名：五洋建設・若築建設・神野建設ほか

治水・治山・海岸

昭和 50 年度の**治水事業**は第四次治水事業 5 か年計画（昭和 47～51 年度）の第 4 年度目として河川・ダム・砂防にわたって予算総額約 6 187 億円（河川 3 537 億円，ダム 1 481 億円，砂防 1 149 億円，機械等 20 億円）で実施した．

河川については，最近激甚な災害の発生した河川の災害対策および地方生活圏整備特定事業に関連した河川，ならびに特定プロジェクト，宅地開発事業等の他事業に関連した河川等の改修を重点的に実施した．また都市地域に係る小河川の改修については対象都市を拡大して事業の推進を図った．なお今年度より新設された準用河川についても事業の推進を図った．直轄河川事業は，石狩川，利根川，淀川等 124 河川の改修工事，中川，新町川等 15 河川の浄化対策事業，北上川上流（北上市），荒川下流（東京都）等 59 河川の河道整備事業を実施した．補助河川事業は中小河川 669 河川，小規模河川 811 河川，局部改良 1 478 河川，高潮対策 11 地区，河道整備 50 河川，河川浄化 48 河川，都市小河川 29 都市 117 河川，地

名　　称	デ　　ー　　タ
国根府浚渫工事〔② 北海道中川郡中川町，③ 95% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：北海道中川郡中川町　事業主体：北海道開発局旭川開発建設部　工事期間：昭和 46 年 5 月～　事業予算：総事業費 12 億 2 000 万円（うち 50 年度 2 億 1 000 万円）　浚渫延長：1 600 m　浚渫土量：258 万 m³　護岸延長：150 m　橋梁：1 か所　15 インチ 600 HP 電動式ポンプ浚渫船　施工業者名：荒井建設・川田工業・郷土建工業
三郷放水路新設工事〔① 三郷放水路，② 埼玉県三郷市，③ 全事業（暫定）のうち 70% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：埼玉県三郷市三郷　事業主体：建設省関東地方建設局　工事期間：昭和 45 年 4 月～53 年 3 月　事業予算：（暫定）174 億円　計画排水量：200 m³/sec（暫定 100 m³/sec）　放水路延長：1 500 m　放水路川幅：52 m　ポンプ形式：立型斜流ディーゼルエンジン駆動　施工業者名：鹿島建設・熊谷組（土木），荏原製作所・日立製作所ポンプほか
牛久沼水門及び排水機場改築工事〔① 牛久沼排水機場，② 茨城県竜ケ崎市，③ 90% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：茨城県竜ケ崎市小通幸谷　事業主体：建設省関東地方建設局　工事期間：昭和 48 年 8 月～53 年 3 月　事業予算：65 億円　水門：径間 16.5 m×2 連・鋼製ローラーゲート　排水機場：排水量 50 m³/sec（暫定 30 m³/sec）　施工業者名：大成建設（土木）・荏原製作所（ポンプ）
野洲川放水路工事〔② 滋賀県守山市野洲町・中主町，③ 39% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：滋賀県守山市野洲町・中主町　事業主体：建設省近畿地方建設局　工事期間：昭和 46 年 9 月～　事業予算：約 328 億円　計画高水流量：4 500 m³/sec　改修延長：8 km　河幅：330 m　橋梁：6 橋　落差工：1 基　施工業者名：守山建設ジョイント・昭建・清水建設ほか
淀川大堰等改築工事〔② 大阪市都島区・東淀川区，③ 36% 完成（昭和 51 年 3 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：大阪市都島区毛馬町・東淀川区浜町　事業主体：建設省近畿地方建設局　工事期間：昭和 47 年 9 月～　事業予算：約 195 億円（うち，土木事業費 132 億円）　計画高水流量：1 万 2 000 m³/sec　可動堰総延長：330 m　門扉形式：鋼製セルタイプローラーゲート　ゲート寸法：メインゲート／55 m×7.8 m×4 門・サイドゲート／40 m×7.8 m×2 門　魚道：左・右岸 2 門（幅 6 m）　施工業者名：熊谷組・大成建設（大堰），日立造船／三菱重工 JV（ゲート），栗本鉄工・酒井鉄工（水閘門）